

AEON Magazine

November
2017
Vol. 59

Fully Global, Truly Local

特集

進化する 金融サービス

Interview

野口悠紀雄

早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター顧問

特集

進化する 金融サービス

金融業界ではいま、フィンテックなどの台頭を受け
いままでにはない新しいサービスが続々と登場している。
イオンは、お客さまのライフスタイルの変化に合わせて
ぐらに密着した金融事業を展開。
今号では、銀行窓口でのロボットや人工知能（AI）を
活用した接客の実証実験や
アジアにおける新サービスの展開、異業種との連携など、
お客さまが「安心、便利、お得」に利用できる金融サービスの
実現に向けて進化するイオンの取り組みを紹介する。
巻頭インタビューでは、大きく変化する金融業界のいまについて
早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター顧問の
野口悠紀雄氏にお話をうかがった。



Illustration by NAOTO OKUBO

ものの力

魚の旨味を凝縮した魚醬
いしる
（右川県輪島市）

日本三大魚醬のひとつである輪島市の「いしる」は、近海で採れた真イワシやサバを塩漬にし、発酵させてつくる伝統調味料。杉樽で3年以上寝かせることによって生まれる醤油のような濃い色やすっきりとした風味が特徴です。地元の家庭では、鍋の割り下や風味付け、ぬか床の隠し味などに用いられています。

イオンの「フードアルチザン（食の匠）」活動では、地域と連携し「伝統輪島いしる継承協議会」を設立。郷土の味を守り続ける生産者の皆さまとのパートナーシップのもと、伝統的な食材や技術の継承に取り組んでいます。 <http://www.foodartisan.jp/>

Illustration by AYA COHARU

November
2017
Vol. 59
AEON
Magazine



Cover Art by TAKERU TOYOKURA
フェルトや紙を使い、ユーモアや温かみのある世界観をつくり出す作家。人々の生活に根づく金融サービスをデジタル機器のうに飛び出すイラストで表現。

発行日：2017年11月30日
発行所：イオン株式会社
コーポレート・コミュニケーション部
〒261-8515
千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
TEL：(043) 212-6061
ホームページ：<http://www.aeon.info/>

この冊子はイオンの情報誌です。
Aeon（イオン）はグループの総称です。
本誌上における社外からの寄稿や発言は、
必ずしも当社の見解を表明していません。



contents

01 - ものの力

02 - 特集

進化する金融サービス

Interview

新しい技術が経済社会の在り方を変える
野口悠紀雄 早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター顧問

Originality

小売業発の金融サービスとして進化

Technology

デジタル技術を活用し接客レベルを向上

Globalization

アジアのお客さまのくらしを豊かにする

Innovation

常に柔軟な発想で新サービスの創出に挑み続ける

12 - 企業使命を果たすために ~SDGsの達成につなげるイオンの事業~

13 - AEON SUSTAINABLE ACTIVITIES 環境保全・社会貢献活動

14 - 決算概要

15 - GROUP NEWS

17 - グループ企業一覧

「プラットフォーム」を実現する可能性があります。巨額の資金や取引上の信用を持たない一般の人が、組織に頼らずに世界を相手にビジネスができるようになります。大きな組織が必ずしも有利ではなく、世界中の誰もが自由に経済活動を行うことができるようになるため、経済社会は大きく変化するでしょう。新しい技術がディストラクター（破壊者）の側面を持つことは否定できません。新しい技術を用いた金融サービスに対して、金融業界では強い危機感が生まれています。しかし、我々の社会から「金融」がなくなるわけではありません。より便利なものへとその形が変わるだけです。過去においても、銀行の窓口業務はATMという「ロボット」に取って代わられました。これもある種のディストラクターと言えるでしょう。これまでも、人間は破壊的な変化を乗り越えて、新しい社会の仕組みをつくり出してきたのです。我々が直面しているのは、産業革命と同じように大きな変化です。この変化に対して、日本は世界のなかで大きく後れを取って

「新しい技術がもたらす革命的な変化のなかで、企業はいま何をなすべきかを見出す必要があります」

Profile

早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター顧問。一橋大学名誉教授。大蔵省入省後、一橋大学教授、東京大学教授、スタンフォード大学客員教授等を経て現職。



野口悠紀雄

Yukio Noguchi

新しい技術が 経済社会の在り方を変える

ブロックチェーン技術の台頭により、大きく変化する金融業界のいまについて、
早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター顧問の野口悠紀雄氏にお話をうかがった。

新しい技術が生まれ低コストで世界どこにでも資金移動が可能に

金融という事業は、その基本形が中世に確立されて以来、現代にいたるまで基本的に変わってこなかったと言えます。1980年代以降ITが発達し、多くの産業や社会生活に影響を与えましたが、金融事業そのものの在り方に影響することはありませんでした。しかし近年、金融業界にはフィンテックと呼ばれる新しい技術が導入され、革命的变化が起きています。なかでも重要なのは、2009年、ブロックチェーンという仕組みを応用した仮想通貨が生まれたこと。この技術は、インターネットを通じての送金を可能にするものです。そもそも、お金を送ったり預けたりする時、金融事業者に対する信用が存在するからこそ成立するのが伝統的な金融取引でした。これに対して、ブロックチェーンの技術を用いた取引は、システムそのものを信用することで成立します。そこに金融事業者が仲介する必要はなく、しかも既存のサービスに比べ非常に安いコストで、経済的な価値を世界のどこにでも送ることができるのです。

産業革命に匹敵する大きな変化が生じる門出を迎えている

ブロックチェーンを用いた取引は、世界の

いと言わざるを得ません。新しい技術を開発する人材が不足していることが大きな原因ですが、こうした技術の導入に対して、法的な規制が妨げとなっている面を無視できません。好むと好まざるに拘わらず、私たちは世界的な技術進化に対応せざるを得ないので、私は、新しい技術が普及することが望ましいと考えています。日本における規制緩和が進むことを願っています。企業は、革命的な変化のなかで、自分たちがどう対応していくべきかを見出すことが重要です。

ブロックチェーンに代表される新しい技術の導入が進めば、さまざまな新しいプレイヤーが出現し、我々の生活を便利にする新しいサービスが生まれるでしょう。

この観点から、イオンには新しい技術を駆使する先駆的な役割を担ってほしいと考えます。例えばスーパーマーケットで買物をする時、人々がレジを通らず自分のスマートフォンで決済できるようになればとても便利です。レジはなくなり、買物の支払いは非常に簡単になります。そして、これを実現することは、技術的に可能です。ブロックチェーン技術をはじめとするさまざまな新しい技術は、イオンのような大手企業が導入してこそ、社会全体に影響をもたらすことになります。新しい技術を取り入れた革新的なサービスをぜひとも実現していただきたいと思います。

※ 金融取引をはじめ電子的な情報を記録し、複数のコンピュータで分散管理することができる仕組み



増やす・備える



使う



貯める



借りる



使う

くらしとともにあるイオンの金融



Originality

小売業発の金融 サービスとして進化



イオンの総合金融事業は、「お客さま第一」の視点を貫く小売業からスタートした。そして、お客さまの豊かなくらしを実現するべく、毎日の買物と金融を融合したサービスを追求することで事業を発展させてきた。

目指したのはお客さまにとって最も身近な金融機関

1976年、ジャスコ（現在のイオン）の店舗では、お客さまがサインひとつで買物できるように、信販会社との提携カード「ジャスコグリーンカード」の取り扱いを開始。ジャスコ各店で会員を募集した。当時、クレジットカードを持たないお客さまが割賦で商品を購入する際、申込書に記入するなどの面倒な手続きが必要であったが、このカードによって不要になったのだ。この4年後となる80年には、銀行や信販会社に頼ることなく、会員募集から信用調査、代金請求・回収に至るまでクレジットカード業務のすべてを自前でできるような体制を整え、自社発行カードの「ジャスコカード」を発行。81年には、日本クレジットサービス（株）を設立し、イオンの金融事業は本格的にスタートした。

現在、総合金融事業を担うイオンフィナンシャルサービス（株）は、お客さまのライフステージに合わせて利用していただけるよう子会

クレジットの支払いとその引き落とし口座が連動するこのカードのサービスを利用すると、普通預金の金利が優遇される。給与振込口座の指定や公共料金の支払いに対しても、電子マネー「WAON」のポイントが貯まり、ポイントから電子マネーに転換すると買物の支払いに利用できる。更に、住宅ローンを契約すると、一定期間、イオンの店舗での買物が毎日5%割引になる。

イオン銀行は、こうした買物と融合する金融商品やサービスをお客さまへ提供し続け、本年、開業から10周年を迎えた。この間、全国に138店舗、約6,000台の自営ATMを展開するまでに成長。お客さま視点のサービスや利便性が評価され、2017年1月、日本経済新聞社による「第13回金融機関ランキング」にて顧客満足度第1位を獲得した。

イオンの金融サービスは、日々お客さまと接するなかでその声を真摯に受け止め、時代の変化に対応しながら、これに応えることで進化してきた。だからこそこれからも、くらしに密着した金融サービスの開発・提供を通じて、お客さまにくらしのなかでより「安心、便利、お得」に利用いただけるよう革新を続けていく。

※1 1994年、イオンクレジットサービス（株）に商号変更
※2 2017年10月末現在

社を通じて、クレジット、銀行、保険などの幅広いサービスを展開。使う、貯める、借りる、増やす、万に「備える」という、お客さまのくらしを総合的にサポートしている。他方、イオンの金融事業は、小売業を基盤とするグループの総合力をもって発展してきたと言える。お客さまが毎日の買物で利用するイオンの店舗で多彩なサービスを展開し、お客さまの最も身近な金融機関として存在感を高めている。日々のくらしのなかで「安心、便利、お得」に利用していただくことを目指している、その一例が、イオン銀行だ。

イオン銀行は主にイオングループが運営する商業施設内に窓口やATMを有している。お客さまは、日々の買物のついでにイオン銀行へふらっと立ち寄ることができる。イオン銀行は小売の店舗と同様、365日、多くは夜9時まで営業している。そのため、お客さまは曜日や時間を気にせず利用することができるのだ。これは24時間手数料無料で利用できるATMについても同様である。更に、銀行の窓口では、ローンなどの銀行サービスに限ることなく、保険の相談やクレジットカードの申し込みも受け付ける。

取り扱う商品やサービスはとてもユニークだ。例えば、銀行のキャッシュカードと、クレジットカードや電子マネーの機能・特典を1枚に集約した「イオンカードセレクト」。



1. デジタルパンフレット。パンフレットのデータをスマートフォンへ転送や、出力することが可能
2. 買物のついでに気軽に立ち寄れるイオン銀行

イオなお客さま対応を更に進化させるべく、子会社であるイオンクレジットサービス(株)、(株)イオン銀行とともにロボットやAI技術を活用した窓口業務の実証実験を開始した。人型ロボットによる接客でクレジットカードの入会手続きが完了し、お客さまの質問にはAI技術を活用した卓上型ロボットが会話形式で対応する。これは国内の金融業界において初の試みである。

イオンカードの入会受付を行うのは、ソフトバンクロボティクス(株)の人型ロボット「Pepper」だ。イオンクレジットサービス(株)や(株)イオン銀行の接客スタッフが長年蓄積してきた受付業務のノウハウを組み込んでいる。Pepperは、入会希望のお客さまにカードの機能や特典、入会手続きの留意事項を説明し、手続きの完了までをサポートする。お客さまは、Pepperの音声案内に従って、店頭にある専用のタブレットに必要な情報を入力し、入会受付を完了。手書きの申込書で起こり得る書き損じや、記入漏れの心配はない。加えて、申し込み時には本人確認書類は不要だ。後日、お客さまの自宅へ宅配業者がイオンカードを届ける際に本人確認を行うため、お客さまは、クレジットカードをつくりたい。と思ったその場で、必要書類の有無を気にせず申し込める。また、Pepperは、最大3名のお客さまに対して同時に接客ができる。申し込みが集中しても、お客さまの待ち時間や申し込み手続きの短縮が可能になる。



AI技術を活用した卓上型ロボットによるデジタルコンシェルジュ

店頭での質問や商品案内などに幅広く対応するのは、AI技術を活用した卓上型ロボットによる「デジタルコンシェルジュ」だ。このデジタルコンシェルジュでは、お客さまが機器備え付けのマイクに話しかけると、その内容を自動で認識。画面に映し出される窓口スタッフをイメージしたキャラクターが応対を始める。会話は音声とディスプレイ文字によって行われるためわかりやすい。AI技術により、たとえばお客さまの質問が曖昧でも、会話の文脈から内容を推察して回答する。お客さまは迅速かつ確実に知りたい情報を得られる。イオンフィナンシャルサービス(株)は実証実験の開始時、デジタルコンシェルジュが約800種類の質問に対応できるように設定。実験を通じて更にデータを蓄積、分析し、実情に即した対応内容にブラッシュアップしている。

デジタル技術の活用が実用化すれば、食品スーパーの一角など限られたスペースで少数スタッフによる銀行店舗の運営も可能となり、出店を更に拡大できる。また、窓口スタッフに時間的な余裕が生まれ、じっくり相談したいと来店するお客さまのニーズをうかがい、ライフステージに合った商品提案に注力することができる。イオンは、お客さまとのコミュニケーションを第一に考え、常に新しい技術を取り入れながら、お客さま満足を実現する接客の在り方を追求していく。

※ ソフトバンクロボティクス(株)のPepperを活用し、イオンフィナンシャルサービス(株)が独自開発したアプリケーション



Technology

デジタル技術を活用し接客レベルを向上

ロボットやAIなどのデジタル技術に注目が集まるなか、イオンフィナンシャルサービス(株)は、本年6月、ロボット技術を活用したイオンカード入会受付、およびAI技術を活用したデジタルコンシェルジュの実証実験をスタートした。

迅速かつ確実な接客を追求し顧客満足度を向上

多くのお客さまとの接点を持ち、対面でのコミュニケーションを通じて直接ご要望をうかがうことができる。これが小売業を基点とするイオンの強みだ。イオンフィナンシャルサービス(株)も、お客さまの声をもとに業務を改善することで、サービスのレベルを向上させてきた。イオン銀行では、窓口での待ち時間や申込書記入の手間など、お客さまの負担軽減を図ると同時に、店頭でのペーパーレス化を推進。現在では、取り扱う金融商品を紹介するツールとして、紙のパンフレットを置かず、デジタルサイネージを活用している。

同行の窓口スタッフは、「取り扱う金融商品について知りたい」、「クレジットカードの入会、登録住所や支払限度額の変更など短時間で手続きを終えたい」など、お客さまの多岐にわたるご要望に対応する。そこでイオンフィナンシャルサービス(株)は、適切でスピーデ



● Malaysia (1996年～)



ポイントカードと電子マネーが一体型となった「イオン メンバースカード」



開するほか、「イオン メンバースカード」と連携したスマートフォンアプリの提供や二次元バーコードを使ったモバイル決済サービスの展開も予定している。

フィリピンでは本年7月、就業支援につながる金融サービスを開始した。イオンとグローバルモビリティサービス(株)との協業によるトライシクル(三輪タクシー)ドライバー向けのオートローンだ。

フィリピンでは、生活の足としてトライシクルが頻繁に利用されている。しかし、ドライバーとして仕事をしたくても信用不足によりローンを組めず、トライシクルを購入できない人が多くいる。こうした状況のなか、「仕事をがんばる人が認められる社会をつくりたい」という考えのもと、同国で金融事業を行うイオンクレジットサービスフィリピンは、ドライバーになりたいというお客さまが金融サービスを利用できるようにした。グローバルモビリティサービス(株)が開発した遠隔制御

デバイスを利用したトライシクルに搭載。ドライバーによるローンの返済が滞ればエンジンが止まり、入金があればエンジンが動くという仕組みでローン返済を促す。この仕組みを利用し、お客さまはドライバーとして生計を立て、安定した所得を得ることができ。就業が増えれば、その国の経済の底上げにつながる。フィリピンのみならず、ローン審査を通過できない理由から自動車を購入できない人は世界中に約20億人いると言われている。この状況を打破すべく、イオンは、アジアを中心にこのオートローンの取り組みを展開する予定だ。

国情に合わせた事業展開に加えて、更にイオンはアジアの国々のサービスをシームレスにつなげることを目指している。近い将来、各国のお客さまがアジアを行き来しても、各国の通貨のちがいを越えて、「イオン」というひとつのプラットフォームのなかで快適にサービスを利用できるようにする。例えば、日本での買物によって貯まったポイントを、マレーシアでの買物の支払いに利用できるなどだ。これを実現すべく、本年6月、日本アイ・ピー・エム(株)とブロックチェーン技術の実証実験を開始。実用化を視野に入れた技術開発を進めている。

イオンは、お客さまの一步先の未来を見据えながらサービスを提供することにより、各国のお客さまのくらしや経済発展に寄与することを目指していく。



87年当時、アジアにはクレジットカードを持っていない人が多くいた。これは各国の信用情報機関が発達していないなどの理由によるもので、実際にはその人に返済能力があったとしても、金融機関による与信審査を通過できなかったからだ。そこで、イオンは香港に金融の支店を開設。香港のイオンの店舗で家具や家電を分割払いで購入できる個品割賦事業を開始した。クレジットカードを持っていないお

金融サービスを必要とする
お客さまにその利用機会を創出する

2013年、世界銀行グループは、基本的な金融取引サービスに世界の誰もがアクセスできるようにするという目標を掲げた。この20年以上も前の1987年、イオンはノンバンクとして初めて、日本以外のアジアの国でお客さまに対する貸付業務を開始。お客さまのくらしを支え、アジア経済の発展に貢献してきた。

客さまであっても、「これまで手が届かなかった商品を手に入れられるようになってほしい」。こうした想いのもと、現在では、アジア12カ国で金融事業を展開。各国の状況に応じてサービスを進化させている。

マレーシアでは、同国におけるクレジットカード事業を担うイオンクレジットサービスマレーシアが、マレーシアのイオンの店舗で発行するポイントカードに電子マネー機能を付した「イオン メンバースカード」の発行を予定している。買物の利用額に応じてポイントを貯めたり、買物の支払いに利用できたりするポイントカードに電子マネー機能を追加。お客さまは現金を持ち歩かなくてもイオンの店舗で買物ができる。更に、国際ブランドであるVISAの加盟店でも利用できるようにすることで、お客さまが世界中どこでも決済ができるようになる。今後ますます拡大が見込まれるキャッシュレス化に向けて、イオンは、このサービスをアジアの国々に展

● Philippines (2008年～)



ドライバー向けの自動車ローンで購入できる、グローバルモビリティサービス(株)のトライシクル

Globalization
アジアのお客さまのくらしを豊かにする

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS | 企業使命を果たすために

国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs）」^{※1}では、豊かさを追求しつつ、地球環境と人々の暮らしを守ろうとする国際社会共通の17の目標を定めている。SDGsに結びつくイオンの取り組みを紹介する。



第2回 フェアトレード商品



1. 手頃な値段で徳用サイズを展開
2. ドミニカの力カオ生産者
3. 生活に溶け込むフェアトレード商品

日常の買物が開発途上国の暮らしを豊かにする

「フェアトレード」とは、開発途上国の商品を継続して適正価格で買い取り、生産者の生活改善や経済的自立を支援する仕組みのこと。2002年、イオンは業界に先駆けて商品開発に着手した。

お客さまに買い続けていただける商品を

当時日本では、フェアトレードに対する認知度が低く、商品を取り扱う企業はごくわずか。フェアトレード認証を取得して製造ラインを維持し、商品を製造する国内メーカーもほとんどなかった。結果として、日本で流通するフェアトレード商品は、海外で製造され、輸入コストが上乗せされた分、割高なものがほとんどだった。日本にフェアトレードを根付かせるにはどうすればよいのか。この問いに、イオンはまず、消費者が手頃な価格でフェアトレード商品を購入できるようにしようと考えた。

商品開発に着手して2年、イオンのブランド「トップバリュ」の商品としてフェアトレード認証コーヒーの販売を開始する。更に輸入コストを抑えるべく、国内でのフェアトレード商品の

製造を目指した。国内メーカーに協力を仰ぎ、試行錯誤を重ねて2010年、日本初の「国内製造」フェアトレード認証チョコレート^{※2}を1箱110円^{※3}（48g、1口タイプ12粒入り）で全国3,500のグループ店舗で販売開始したのだ。2014年にイオンはフェアトレードの普及を促す「国際フェアトレード認証調達プログラム」^{※3}にアジアで唯一参加。この時、2020年までにフェアトレード認証力カオの調達量を2012年比10倍にする目標を掲げた。その後、徳用チョコレートなどの売れ筋カテゴリーでも商品を展開。目標達成に向けて調達量を順調に伸ばしている。

イオンがフェアトレードに取り組み始めて15年。コーヒー、チョコレート、ジャムやバナナなど「トップバリュ」のフェアトレード商品のラインアップを増やすとともに、販売するグループ企業の店舗数を拡大している。この取り組みの目指すところは、生産者を支援する仕組みを日常の買物の中に浸透させることだ。主旨に賛同して商品を購入するだけでなく、「チョコレートを買おう」と手にしたらまたフェアトレードだったという機会を更に増やしていく。

金融業界では、異業種との連携などにより次々と新しいサービスが生まれている。イオンフィナンシャルサービス(株)は、グループ内はもとより、外部の知見も取り入れ、お客さまの日々の暮らしのなかで気軽にご利用いただけるサービスの創出に挑み続けている。

イオンのプラットフォームをいかにアイデアを事業化する

昨年、同社は新たなフィンテックサービスの早期実現を目的としたビジネスコンテスト



本年10月31日に開催した「AEON Financial Service Innovation 2017」説明会。多くの参加者が熱心に耳を傾けた

Innovation

常に柔軟な発想で 新サービスの創出に 挑み続ける

「AEON Financial Service Innovation」を初めて開催した。同コンテストは「商業と金融の融合」を実現する、斬新かつ画期的なサービスやソリューションに関するアイデアを募集するというもの。アイデアはイオンカード会員をはじめ、イオンの店舗や銀行、保険ショップなど、イオングループのプラットフォームを最大限に活用することを前提に募集。最優秀賞を受賞した提案については、事業化やサービス導入を前提としている。昨年は、数時間のアイデアソンと2日間のハッカソンによって短期集中型のコンテストを

実施した。最優秀賞に輝いたネオス(株)の「コミュニケーション型家計簿アプリ」は、現在、イオン銀行が来春のリリリースを目標に開発を進めている。

AEON Financial Service Innovation 2016 参加者の声

● 説明会では技術的な質問に丁寧に回答いただきました。今後も、同様のイベントがあれば参加したいです。

● イオンとつながるチャンスと思い参加しました。アイデア募集にとどまらず、実用化を前提にしている点がよいですね。

※1「アイデア」と「マラソン」を合わせた造語。特定のテーマについてグループ単位でアイデアを出し合い、まとめていく形式のイベント
※2「ハック」と「マラソン」からなる造語。ソフトウェア開発者が共同して、一定期間集中的にプログラムの開発やサービスの考案を行い、その成果を競うイベント

イオン(株) 連結決算概要

2018年2月期第2四半期

営業収益、営業利益、経常利益で 過去最高を更新 GMS事業が大きく業績改善

当第2四半期は、連結営業収益、営業利益ならびに経常利益において過去最高を更新。7事業中5事業で増益を達成しました。

GMS(総合スーパー)事業では、(株)ダイエーからの承継店舗でイオンの商品・販促企画の浸透を図り、売上高・荒利益率ともに改善。イオンリテール(株)は、お客さまの節約志向に対応して行った「トップバリュ」の値下げや、デリカ部門・イートインの強化、部門を越えたクロスマーケティングなどにより、お客さま1人当たりの買上点数を引き上げました。加えて、販売促進費の効率的な活用や経費

コントロールにより、収益性を大幅に改善。SM(スーパーマーケット)事業は天候不順の影響などで減益となりましたが、各地域のお客さまニーズに対応する商品展開や売場づくりに努めました。ドラッグ・ファーマシー事業は新規出店や既存店舗活性化により調剤併設店舗や24時間店舗を拡大し、売上を伸長。総合金融事業ではキャラ

クターを用いた新規カード発行、協業先と連携した商品開発やプロモーションの実施などが奏功し、カード会員ならびにカードショッピング取扱高の増加につながりました。またディベロッパ事業は、11カ所の既存ショッピングセンターで実施した増床・活性化等が前年同期を上回る来店客数・専門店売上に寄与しました。



1. ライフスタイルに応じ専門性の高い商品・サービスを提供する「イオンスタイル」
2. 売場区分を越えて、関連商品を配置するクロスマーケティングの一例

2018年2月期第2四半期(累計) 事業別業績 ※1

単位: 億円

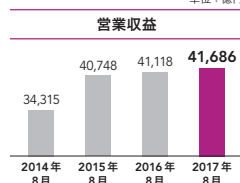
	営業収益		営業利益	
	当第2四半期	前年同期比	当第2四半期	前年同期差
GMS(総合スーパー) 事業	15,251	99.8%	-104	+99
SM(スーパーマーケット) 事業	16,228	100.6%	108	-49
ドラッグ・ファーマシー事業	3,411	109.5%	138	+31
総合金融事業	1,979	107.7%	329	+11
ディベロッパ事業	1,649	106.1%	235	+27
サービス・専門店事業	3,977	101.4%	152	-6
国際事業	2,039	99.3%	-12	+22
連結合計 ※2	41,686	101.4%	850	+126

※1 当期の会計方針および表示に合わせて過年度実績を修正しています

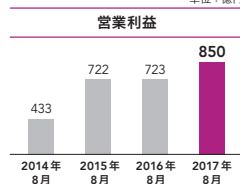
※2 連結合計には、各事業の合計のほか、その他事業の実績および調整額が含まれています

連結業績 ※1

単位: 億円



単位: 億円



2018年2月期 業績予想(修正後) ※3

単位: 億円 ()内は前年比

営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
83,000 (101.1%)	2,000 (108.3%)	2,000 (106.8%)	150 (133.3%)

※3 通期業績予想の営業利益1,950億円および経常利益1,900億円をそれぞれ2,000億円に上方修正しています

AEON SUSTAINABLE ACTIVITIES

サステナブル(持続可能)な社会を目指して。地域の皆さまとともに、さまざまな活動を行っています。

2017年
7月~9月

社会貢献

6カ国の高校生53名が集う「アジア ユースリーダーズ 2017」開催

(公財)イオンワンパーセントクラブは8月21日~26日、「アジア ユースリーダーズ 2017」を日本で開催。中国、インドネシア、日本、マレーシア、タイ、ベトナムの高校生53名が集結し、「食育」をテーマに専門家の講義や食生活に関する調査活動などを通じて考察を深め、グループごとに議論した課題の解決策の提言を行いました。次代を担う各国の高校生・大学生が自発的な行動力やグローバル感覚を養う同プログラムは、2010年に開始し、今回の開催で参加者は計722名となりました。



イオンスタイル碑文谷でインタビューを行う高校生たち

環境保全

ユネスコエコパークに関する国内初の連携協定を締結

(公財)イオン環境財団は、8月7日、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目指し、日本ユネスコエコパークネットワークと国内初となるパートナーシップを結びました。今後、ユネスコエコパーク®における3つの機能「保全機能」「経済と社会の発展」「学術的研究支援」について連携して取り組んでいきます。

※生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的としてユネスコが登録を認める地域。国内の登録件数9件。



連携協定締結式。前列左が財団岡田理事長

緑あふれる海岸部の再生を目指し、「福島県 いわき市植樹」実施

(公財)イオン環境財団は9月16日、「福島県 いわき市植樹」を実施しました。本植樹は、福島県ならびにいわき市と締結した「森林づくりに関する協定」にもとづき、東日本大震災で流失した防災海岸線など沿岸部の再生を目的とするもの。700名のボランティアの皆さまと7,000本を植樹しました。また当日は、来年6月開催予定の「第69回全国植樹祭」へ活動をつなぐセレモニー「森林とのきずなづくり植樹リレー」も実施しました。



クロマツ、山桜など6種7,000本を植樹



つなげよう、ふるさとのチカラ

東北を起点に日本各地、世界各国の皆さまと手をたずさえ、イオンは笑顔あふれる未来のためにさまざまな取り組みを行っています。

福島県南相馬市の方々と「イオン 未来共創プログラム」を推進

イオンは2016年度から、交流を通じて被災地の課題解決への支援を目指す「イオン 未来共創プログラム」を推進。福島県南相馬市小高では9月1日~3日、グループ各社の従業員が、同地域の活性化につながる支援策について議論し、11月下旬にはJR小高駅前のイルミネーション点灯を、また、2018年1月には地元の高校生が考案した地元の食材を使ったお弁当の販売を決定しました。今後も地域活性化に向けて、地域の皆さまと協働していきます。



小高産業技術高校ではグループ各社の従業員約30名が、お弁当企画会議を実施

8/21

日本の旬の梨を
ベトナムのお客さまへ継続的に輸出

イオンは、本年1月のベトナムへの梨輸出解禁後初めて、旬を迎えた梨を輸出。福島県・宮城県・茨城県の梨生産者の皆さま、調達・輸出を担うイオンリテール(株)、販売するイオンベトナム、販売支援をいただく(独)日本貿易振興機構(JETRO)がタッグを組み、ベトナムの「イオン」などグループ約60店舗で順次販売しました。

各県で梨輸出の出発式を開催(写真は宮城県)



イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ

7/26

「トップバリュ fururi」製造国である
カンボジアに売上の一部を寄付

イオンは、環境にやさしいビニール傘「トップバリュ fururi(ふるり)」の販売開始1年を機に、売上の一部46万2,860円を、(公財)イオンワンバースントクラブを通じて認定NPO法人 難民を助ける会(AAR Japan)に贈呈。製造国カンボジアの教育施設整備や障がいを持つ子どもたちの就学支援などに役立てていただきます。

「トップバリュ fururi」寄付金贈呈式。AAR Japan 理事長(左)、(公財)イオンワンバースントクラブ 横尾理事長(右)



9月19日、国内プライベートブランド商品で初めて、5つの添加物不使用の「トップバリュ」添加物に配慮したペットフードシリーズ13品目を発売。愛犬・愛猫に安心できるものを食べさせてあげたいというお客さまのニーズに応え、合成保存料、合成着色料、発色剤、酸化防止剤、プロピレングリコールを使用しない商品を国内で製造しています。



9/30

インドネシア2号店をオープン
「イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ」

イオン(株)およびイオンモール(株)は、「イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ」をインドネシアにオープン。最新エンターテインメントモールとして、同国最大のアイススケートリンク、シネマなどが出店するほか、屋上には同国No.1の大きさとゴンドラ数を誇る大観覧車を設置しています。また、即食ニーズに対応し、地域最大級1,300席のフードコートをはじめ、多彩なメニューと演出でお客さまをお迎えします。

9/5

「イオン 中部デリカセンター」を開業
素材鮮度にこだわった独自の惣菜を製造

イオンは、中部エリアの生鮮・デリカの製造加工・配送を担うセンター内で、惣菜の製造に特化した「イオン 中部デリカセンター」の稼働を開始しました。生鮮加工センター併設であることをいかにして素材の鮮度にこだわり、地域のお客さまのニーズに合わせたメニューをスピーディーに商品化していきます。

7/24

国内初[※]、RORO 船を利用した
サッポログループとの共同運航を開始

イオングローバルSCM(株)は、サッポログループ物流(株)と、中部・九州間において国内初となるRORO船(貨物船)を利用した共同運航を開始しました。CO₂排出量のみならず輸送コストを削減するとともに、ドライバーの労務状況改善や災害時などのBCP(事業継続計画)にも対応。環境負荷低減と多様な輸送体制構築の一環となる取り組みです。

※イオングローバルSCM(株)、サッポログループ物流(株)調べ

往路でイオンの商品を、復路でサッポロの商品を運搬



鳥取岡山観光物産展を開催(イオンスタイル ウォンボー)

7/11

お客さまとともに考え、取り組む
イオンの「COOL CHOICE」を宣言

イオンは、国が進める温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」の趣旨に賛同し、グループをあげて継続的に発信・実践することを宣言。小売業の強みをいかし、イオンモールで楽しく涼しく快適に過ごしていただく企画「涼も〜」の開催など、店舗を拠点にしながら、商品・サービスを通じて普及啓発に寄与します。

お客さま参加型イベントを実施



イオンの電子マネー「WAON」(新規発行)

6月30日発行
「KOBE WAON」

累計発行枚数

約6,730万枚(2017年9月末現在)

9/1

イオンストアーズ香港
開業以来30年のご愛顧に感謝

イオンストアーズ香港は本年、営業開始から30年を迎えました。昨年「イオンスタイル」に改装したイオンスタイル コーンヒルをはじめ、各店舗では30周年を盛り上げるさまざまな企画を実施。イオンスタイル ウォンボーでは「鳥取岡山観光物産展」を開催し、2県の産品や文化を紹介しました。今後も商品・サービスを通じ、香港のお客さまに新たな価値を提供していきます。

30
ANNIVERSARY

8/25

全国約2,800店舗にて、毎日の
生活に必要な品々114品目を値下げ

イオンは、毎日の生活で必要とされる商品やサービスをお値打ち価格で提供することを使命と考え、継続的にイオンのブランド「トップバリュ」の値下げに取り組んでいます。物流の効率化やベストソースからの原料調達、一括仕入れなど、さまざまな施策を通じてコストを削減。このたび、お客さまの購入頻度の高い114品目を厳選して値下げを実現しました。

グループ企業一覧

太字は株式会社公開企業 ○は持分法適用関連会社 ●は友好提携会社

【純粋持株会社】

イオン株

【GMS（総合スーパー）事業】

イオンリテール株

イオン北海道株

株サンデー

イオン九州株

イオンスーパーセンター株

イオンドットコム株

イオンバイク株

イオンベーカーリー株

イオンリカー株

イオン琉球株

株エムエス青果センター

オリジン東秀株

清水商事株

しみずスタッフ株

清水配送株

トップバリュコレクション株

株ボンベルタ

○ 株U-any

【SM（スーパーマーケット）事業】

ミニストップ株

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株

マックスバリュ西日本株

マックスバリュ東北株

マックスバリュ東海株

マックスバリュ中部株

マックスバリュ北海道株

マックスバリュ九州株

○ 株いなげや

○ 株ベルク

○ 株ワンダーコーポレーション

アコレ株

株アスビスサポート

株アルティファーズ

イオンサヴール株

イオンビッグ株

イオンマーケット株

株オレンジフードコート

株鹿児島サンライズファーム

株カスミ

株カスミグリーン

株協栄エイアンドアイ

株光洋

株山陽マルナカ

株食品品質管理センター

株ダイエー

株ダイエースペースクリエイト

株中合

ネットワークサービス株

ピオセボン・ジャボン株

株ビッグ・エー

株ボンテ

まいばすけっと株

マックスバリュ関東株

マックスバリュ長野株

マックスバリュ北陸株

マックスバリュ南東北株

株マルエツ

株マルエツ開発

株マルエツフレッシュワーズ

株マルナカ

株マーン

株レッドキャベツ

株ロベリア

株ローズコーポレーション

MINISTOP KOREA CO., LTD.

MINISTOP VIETNAM COMPANY LIMITED

丸悦（香港）有限公司

丸悦（无锡）商贸有限公司

永旺美思佰乐（广州）商业有限公司

永旺美思佰乐（江苏）商业有限公司

永旺美思佰乐（青岛）商业有限公司

青岛迷你岛便利店有限公司

○ 株セイブ

○ 株テンダイ

○ 株日本流通未来教育センター

○ ROBINSONS CONVENIENCE STORES, INC.

【ドラッグ・ファーマシー事業】

ウエルシアホールディングス株

○ 株メディカルー光

● 株ツルハホールディングス

● 株クスリのアオキホールディングス

ウエルシア介護サービス株

ウエルシア薬局株

シミズ薬品株

株B.B.ON

Welcia-BHG (Singapore) Pte. Ltd.

联华每日鈴商业（上海）有限公司

○ 株ウェルバーク

○ 株ザグザグ

【総合金融事業】

イオンフィナンシャルサービス株

AEON 信託財務（アジア）有限公司

AEON THANA SINSAP (THAILAND) PLC.

AEON CREDIT SERVICE(M)BERHAD

○ イオンリート投資法人

株イオン銀行

イオンクレジットサービス株

イオン少額短期保険株

イオン住宅ローンサービス株

イオンプロダクトファイナンス株

イオン保険サービス株

イオン・リートマネジメント株

イー・シー・エス債権管理回収株

フェリカポケットマーケティング株

ACS リース株

ACS CAPITAL CORPORATION LTD.

AEON Insurance Service (Thailand) Co., Ltd.

ACS SERVICING(THAILAND)CO.,LTD.

ACS TRADING VIETNAM CO.,LTD.

AEON CREDIT SERVICE INDIA PRIVATE LIMITED

AEON CREDIT SERVICE (PHILIPPINES) INC.

AEON CREDIT SERVICE SYSTEMS (PHILIPPINES) INC.

AEON Leasing Service (Lao) Company Limited

AEON SPECIALIZED BANK (CAMBODIA) PUBLIC LIMITED COMPANY

AEON MICROFINANCE (MYANMAR) CO.,LTD.

ATS Rabbit Special Purpose Vehicle Company Limited

PT.AEON CREDIT SERVICE INDONESIA

沈阳金融商贸开发区永旺小额贷款有限责任公司

深圳市永旺小额贷款有限公司

台湾永旺財務服務股份有限公司

台湾永旺信用卡股份有限公司

天津永旺小额贷款有限公司

永旺保險顧問（香港）有限公司

永旺金融服務（香港）有限公司

永旺信用担保（中国）有限公司

永旺資訊服務（深圳）有限公司

【ディベロッパー事業】

イオンモール株

イオンタウン株

イオンモールキッズドリーム同

イオン不動産サービス株

株OPA

AEON MALL HIMLAM CO., LTD.

AEON MALL VIETNAM CO., LTD.

AEON MALL (CAMBODIA) CO., LTD.

永旺夢楽城（南通）商业管理有限公司

PT. AEON MALL INDONESIA

PT. AMSL DELTA MAS

PT. AMSL INDONESIA

永旺夢楽城経開（武汉）商业管理有限公司

永旺夢楽城蘇南（苏州）商业管理有限公司

永旺夢楽城优雅（北京）商业管理有限公司

永旺夢楽城优雅（天津）商业管理有限公司

永旺夢楽城（广东）商业管理有限公司

永旺夢楽城（广州白云）商业管理有限公司

永旺夢楽城（湖北）商业管理有限公司

永旺夢楽城（江苏）商业管理有限公司

永旺夢楽城（三河）商业管理有限公司

永旺夢楽城（苏州）商业管理有限公司

永旺夢楽城（天津）商业有限公司

永旺夢楽城（烟台）商业管理有限公司

永旺夢楽城（中国）商业管理有限公司

永旺夢楽城（中国）投资有限公司

永旺夢楽城（浙江）商业管理有限公司

永旺夢楽城（武汉）商业管理有限公司

○ L.A.Style株

【サービス・専門店事業】

〈サービス事業〉

イオンディライト株

株イオンファンタジー

株ツヴァイ

株イオンイーハート

イオンエンターテイメント株

イオンカルチャー株

イオンコンパス株

イオンディライトアカデミー株

イオンディライトセキュリティ株

イオンライブ株

エイ・ジー・サービス株

株カジタ

環境整備株

関東エンジニアリング株

株ジェネラル・サービシズ

株ドゥサービス

株白青舎

リフォームスタジオ株

AEON DELIGHT (MALAYSIA) SDN.BHD.

AEON DELIGHT (VIETNAM) CO., LTD.

AEON Fantasy Group Philippines,INC.

AEON Fantasy Holdings (Thailand) Co.,Ltd.

AEON FANTASY (MALAYSIA) SDN.BHD.

AEON Fantasy (Thailand) Co.,Ltd.

AEON FANTASY VIETNAM CO., LTD.

J-Horizons Travel (M) Services Sdn. Bhd.

PT AEON FANTASY INDONESIA

苏州市高永物业服务有限公司

苏州上品洗漆服务有限公司

苏州仲联物业管理有限公司

永旺幻想（中国）儿童游乐有限公司

永旺一心餐饮管理（青岛）有限公司

永旺永乐（江苏）物业服务有限公司

永旺永乐（上海）企业管理有限公司

永旺永乐（中国）物业服务有限公司

永旺永乐泰达（天津）物业服务有限公司

苏州永旺永乐保安服务有限公司

武汉小竹酒店管理服务有限公司

武汉小竹物业管理服务有限公司

〈専門店事業〉

株ジーフット

株コックス

○ 株タカキュー

アビリティーズジャスコ株

株イオンフォレスト

イオンペット株

株イオンボディ

クレアーズ日本株

コスメーム株

タルボットジャパン株

ブランシェス株

株プレスステージシュース

株未来屋書店

株メガスポーツ

メガベトロ株

ローラアシュレイジャパン株

AT ジャパン株

R.O.U株

美嘉（上海）商贸有限公司

羅蘭愛思亞洲有限公司

新脚步（北京）商贸有限公司

台湾洛拉股份有限公司

泰波姿（上海）商贸有限公司

永娃（北京）宠物用品有限公司

○ 国際事業】

〈中国〉

永旺（中国）投资有限公司

永旺（香港）百貨有限公司

广东永旺天河城商业有限公司

青岛永旺东泰商业有限公司

永旺华南商业有限公司

永旺华东（苏州）商业有限公司

永旺（湖北）商业有限公司

永旺商业有限公司

〈ASEAN〉

AEON ASIA SDN. BHD.

AEON CO. (M) BHD.

AEON BIG (M) SDN. BHD.

AEON INDEX LIVING SDN. BHD.

AEON ORANGE COMPANY LIMITED

AEON VIETNAM Co., LTD

AEON (CAMBODIA) Co.,Ltd.

AEON(Thailand) CO., LTD.

DONG HUNG INVESTMENT DEVELOPMENT CONSULTANCY JOINT STOCK COMPANY LIMITED

PT.AEON INDONESIA

○ FIRST VIETNAM INVESTMENT JOINT STOCK COMPANY

【機能会社・その他】

○ 株やまや

イオンアイビス株

イオンアグリ創造株

イオングローバルSCM株

イオントップバリュ株

イオンフードサプライ株

イオンマーケティング株

コルドンヴェール株

株生活品質科学研究所

AEON GLOBAL SCM SDN.BHD.

AEON TOPVALU MALAYSIA SDN.BHD.

AEON TOPVALU (HONG KONG) CO., LIMITED

AEON TOPVALU (THAILAND) CO.,LTD.

AEON TOPVALU VIETNAM COMPANY LIMITED

AEON 信息系统集成（杭州）有限公司

Tasmania Feedlot Pty. Ltd.

永旺环球（北京）国际货运代理有限公司

永旺特慧優国际贸易（上海）有限公司

○ イオンデモンストラーションサービス南

■ (公財) イオンワンバーセントクラブ

■ (公財) イオン環境財団

■ (公財) 岡田文化財団